

平成27年度「県民Webアンケート」 第4回 奈良県の生物多様性について

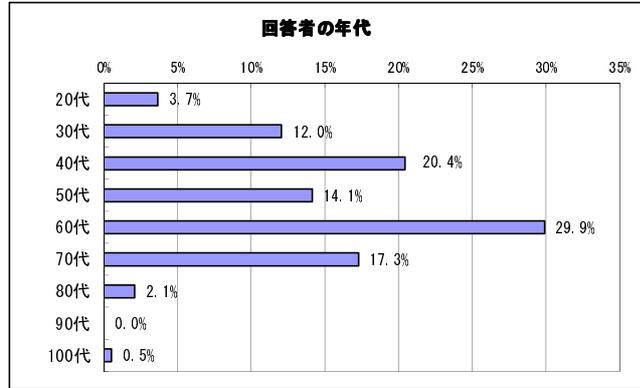
○実施期間 2015/8/20～2015/8/26

○アンケート会員数 222人 回収数 191件 (回収率 86.0%)

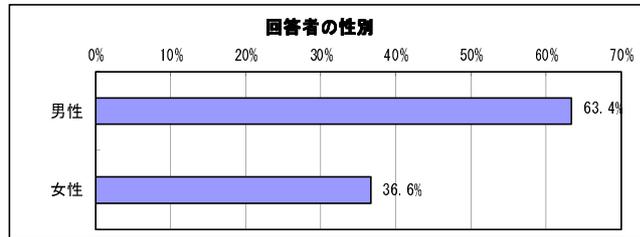
○平素より、県の自然環境の保全にご協力いただき、ありがとうございます。県では、平成25年3月に生物多様性なら戦略を策定いたしました。(※生物多様性とは、生きものや生態系の豊かさを表す言葉です。さまざまな生態系にさまざまな在来種が、さまざまな遺伝子を有して生きています。)戦略では、普及啓発を通して皆様に生物多様性を身近に感じていただき、生物多様性への認知度を高めることを目標の1つに掲げております。

そこで、皆様の生物多様性に対する意識や認知度について現状を把握するためアンケートを実施し、今後の取組に活用させていただきたいと考えております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

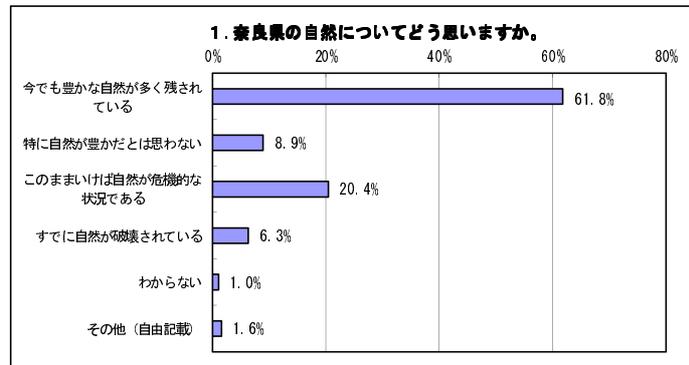
回答者の年代	回答数	比率
20代	7	3.7%
30代	23	12.0%
40代	39	20.4%
50代	27	14.1%
60代	57	29.9%
70代	33	17.3%
80代	4	2.1%
90代	0	0.0%
100代	1	0.5%
総計	191	100.0%



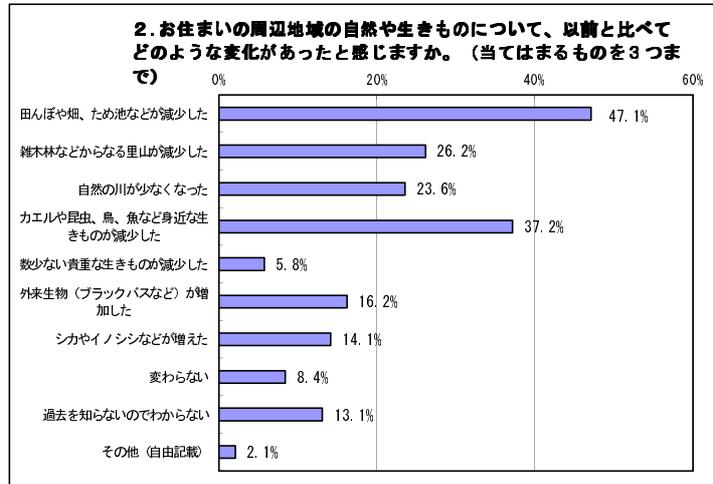
回答者の性別	回答数	比率
男性	121	63.4%
女性	70	36.6%
総計	191	100.0%



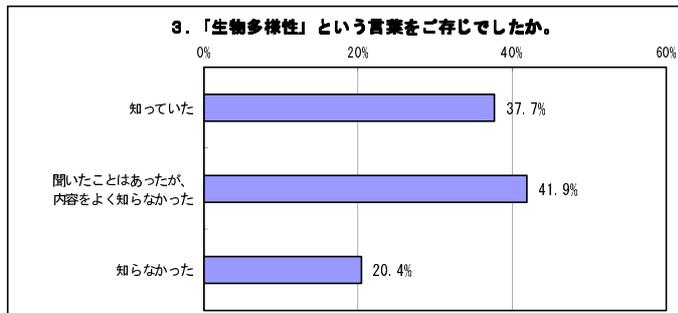
1. 奈良県の自然についてどう思いますか。	回答数	回答対象者	比率
今でも豊かな自然が多く残されている	118	191	61.8%
特に自然が豊かだとは思わない	17		8.9%
このままいけば自然が危機的な状況である	39		20.4%
すでに自然が破壊されている	12		6.3%
わからない	2		1.0%
その他(自由記載)	3		1.6%
総計	191		100.0%



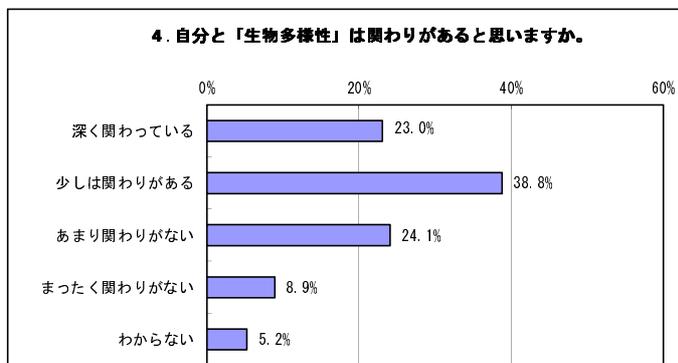
2. お住まいの周辺地域の自然や生きものについて、以前と比べてどのような変化があったと感じますか。(当てはまるものを3つまで)	回答数	回答対象者	比率
田んぼや畑、ため池などが減少した	90	191	47.1%
雑木林などからなる里山が減少した	50		26.2%
自然の川が少なくなった	45		23.6%
カエルや昆虫、鳥、魚など身近な生きものが減少した	71		37.2%
数少ない貴重な生きものが減少した	11		5.8%
外来生物(ブラックバスなど)が増加した	31		16.2%
シカやイノシシなどが増えた	27		14.1%
変わらない	16		8.4%
過去を知らないのわからない	25		13.1%
その他(自由記載)	4		2.1%
総計	370		-



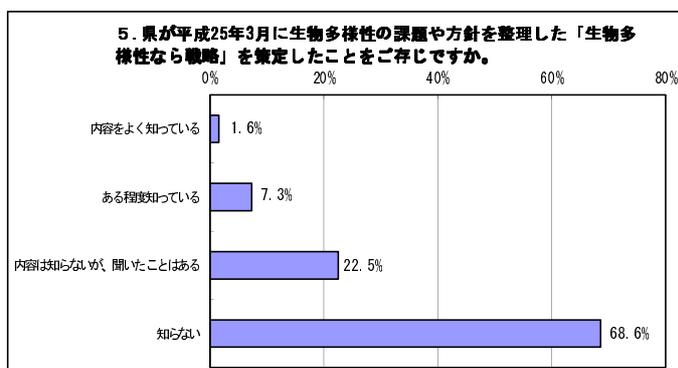
3. 「生物多様性※」という言葉をご存じでしたか。 (※生物多様性とは、生きものや生態系の豊かさを表す言葉です。さまざまな生態系にさまざまな在来種が、さまざまな遺伝子を有して生きていることです。)	回答数	回答対象者	比率
知っていた	72	191	37.7%
聞いたことはあったが、内容をよく知らなかった	80		41.9%
知らなかった	39		20.4%
総計	191		100.0%



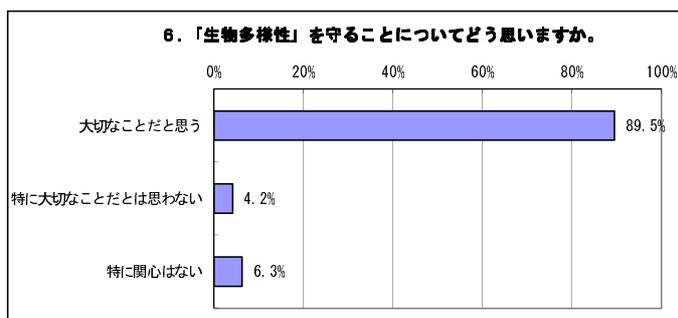
4. 自分と「生物多様性」は関わりがあると思いますか。	回答数	回答対象者	比率
深く関わっている	44	191	23.0%
少しは関わりがある	74		38.8%
あまり関わりがない	46		24.1%
まったく関わりがない	17		8.9%
わからない	10		5.2%
総計	191		100.0%



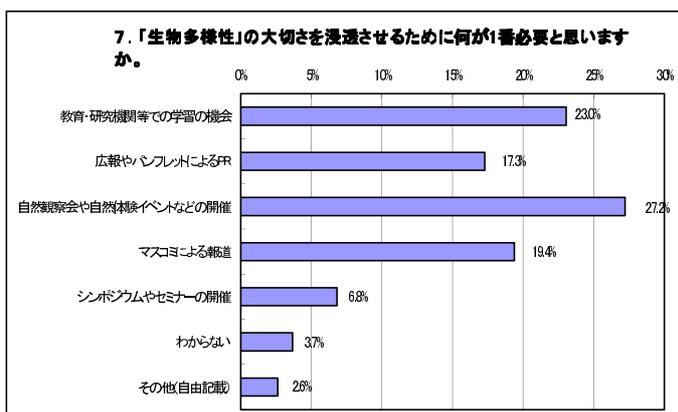
5. 県が平成25年3月に生物多様性の課題や方針を整理した「生物多様性なら戦略」を策定したことをご存じですか。 (「生物多様性なら戦略」については次のURLより： http://www.pref.nara.jp/31321.htm)	回答数	回答対象者	比率
内容をよく知っている	3	191	1.6%
ある程度知っている	14		7.3%
内容は知らないが、聞いたことはある	43		22.5%
知らない	131		68.6%
総計	191		100.0%



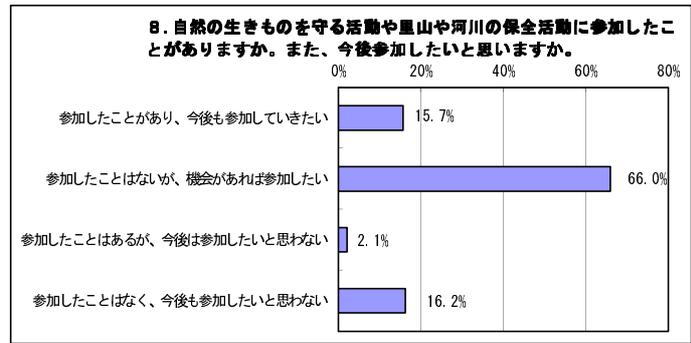
6. 「生物多様性」を守ることにどう思いますか。	回答数	回答対象者	比率
大切なことだと思う	171	191	89.5%
特に大切なことだとは思わない	8		4.2%
特に関心はない	12		6.3%
総計	191		100.0%



7. 「生物多様性」の大切さを浸透させるために何が一番必要だと思いますか。	回答数	回答対象者	比率
教育・研究機関等での学習の機会	44	191	23.0%
広報やパンフレットによるPR	33		17.3%
自然観察会や自然体験イベントなどの開催	52		27.2%
マスコミによる報道	37		19.4%
シンポジウムやセミナーの開催	13		6.8%
わからない	7		3.7%
その他(自由記載)	5		2.6%
総計	191	100.0%	



8. 自然の生きものを守る活動や里山や河川の保全活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。	回答数	回答対象者	比率
参加したことがあり、今後も参加していきたい	30	191	15.7%
参加したことはないが、機会があれば参加したい	126		66.0%
参加したことはあるが、今後は参加したいと思わない	4		2.1%
参加したことはなく、今後も参加したいと思わない	31		16.2%
総計	191		100.0%



9. 「生物多様性」に関して行政が重点的に取り組むべきと思うことを選んでください。(当てはまるものを3つまで)	回答数	回答対象者	比率
自然公園など優れた自然環境の保全	105	191	55.0%
在来種を脅かす外来種(ブラックバスなど)の駆除	86		45.0%
シカなどによる希少植物の食害防止	52		27.2%
開発等による影響を小さくすること	80		41.9%
里地・里山、ため池などの身近な自然環境の保全	94		49.2%
希少野生動物等に関する調査・研究・人材育成	38		19.9%
自然観察会などの学習の場の提供	48		25.1%
特にない	3		1.6%
その他(自由記載)	5		2.6%
総計	511		-

